

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立富山商業高等学校
校長 土肥 恵一

令和5年度学校経営計画を別紙(様式2・様式3)とともに提出します。

令和5年度 学 校 経 営 計 画

1 学校教育目標

校訓「自主協調」「明朗誠実」「進取敢闘」を指針として高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、生涯にわたって愛と正義の理想を追求するより高い人格の育成に努める。

2 学校の特徴

- ・ 商業の高い専門性を極めながら、部活動も活発に展開している。
- ・ 礼儀を重んじ何事にも挑戦する真摯な態度を育て、全人的な教育を施している。
- ・ 地域社会に貢献できる商業人の育成を目指し、「TOMI SHOP」の実施や外部講師による授業、インターンシップや現場実習など、実社会に即応した教育を展開している。
- ・ 「愛され信頼される人間力」「課題解決力」「ビジネスの理解力・実践力」の3つの力を身につけさせることを掲げ、教育活動を実践している。
- ・ 設置4学科を昨年度から刷新したことにより、問題の解決方法を設計(デザイン)するための考え方「(スタンフォード式)デザイン思考」を全学科に取り入れた商業教育を展開している。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

- ・ 小学科制を採用し、1年次から各学科の特性を生かした教育課程を編成し、専門性の深化に努めている。
- ・ 教職員が共通理解のもと、相互に連携・協調を図り、挨拶や頭髪指導をはじめ、日々の生活指導をととして人格教育に当たっており、規律のある校風が保たれている。
- ・ 生徒全員が部活動に加入しており、それぞれが全国大会出場などの高い目標に向かって部活動に励み、その活躍が学校の活性化に大きく貢献している。一方で、部活動での鍛錬の成果を学校生活全般に波及させるよう努めることが必要である。
- ・ 商業等の専門教育の成果を測る尺度として、高度な資格取得に積極的に挑戦させるとともに、生徒が自分の将来の生き方を考え、進路の適切な選択ができるよう支援するために、教育活動全体を通して計画的、組織的に取り組んでいる。
- ・ 専門家や企業人を招聘し、起業や新事業創出に挑戦する人材の育成に取り組んでいる。
- ・ 自己の行き方を見つめ、ビジネスに新しい価値を生み出す探究的学習を行うことにより、キャリアプランニング能力を身につけ、実践的な学習を通して、望ましい勤労観や職業観の育成に努めるとともに、社会人基礎力を段階的に身に付けさせている。

(2) 課題

- ・ 生徒の興味・関心や理解度の把握に努め、学力の3要素である「知識・技能」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を学校全体で共有しながら確かな学力を身に付けさせる。また、ビジネスを理解・実践する力と豊かな人間性を身に付けさせるために、各種教育活動の改善・充実に努める。
- ・ 生徒個々に応じたきめ細かな部活動指導に努めるなど、生徒が目標に向かってねばり強く取り組むことができる教育環境を整える。
- ・ 日々の学校生活の中で、挨拶など基本的な生活習慣を確立させるとともに、コミュニケーション能力を高める教育活動を推進する。
- ・ 生徒が将来の職業生活を見据え、真摯に学習に取り組み、主体的に進路を考えることができるように、自己実現に向けた支援に努める。